

京都・左京区 “つくり手” が集う街で、創作を見守る「風見鶏」 「茶山・京都芸術大学駅」に卒業生作品を新設置

えいでん×京都芸術大学「プラットフォームギャラリー」展示をリニューアル

叡山電鉄株式会社（本社：京都市左京区、社長：豊田秀明）は、京都芸術大学（所在地：京都市左京区、学長：佐藤卓）との包括連携協定により、芸術を通じた地域活性化や、人材育成、文化振興を推進し、沿線の魅力向上に貢献する取り組みを進めています。

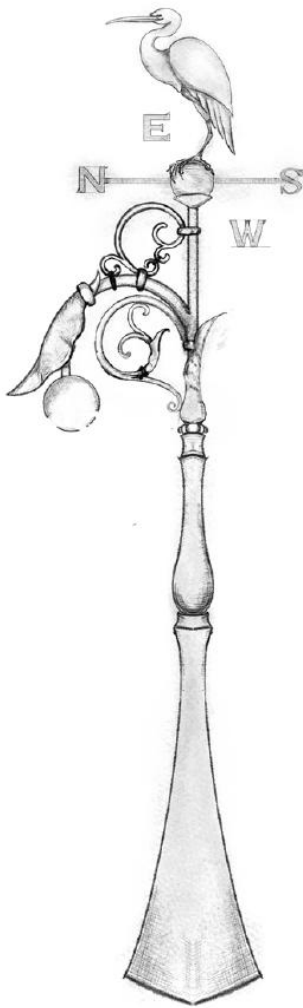
2023年から取り組んでいる「プラットフォームギャラリー・プロジェクト」として、最寄り駅「茶山・京都芸術大学駅」を含む沿線全体をアートギャラリーととらえ、作品展示などにより街づくりに参画しています。

この度、2026年4月20日（月）に同駅ホームの街灯作品を展示替えし、福田直樹氏の作品《Lamp》を新たに設置することとなりました。

周辺地域は、若手アーティストのスタジオやアトリエが点在するエリアでもあります。「守護」のシンボルであり、人々に勇気を与える存在ともいわれる「風見鶏」をモチーフとした街灯作品が、地域を明るく照らしながら、学生やものづくりに携わるすべての人々の創作活動を見守ります。なお、現代美術家ヤノベケンジ氏の作品《SHIP'S CAT (TOWER)》は継続展示します。



現在の「茶山・京都芸術大学駅」の様子。手前にヤノベケンジ氏の《SHIP'S CAT (TOWER)》



新作《Lamp》のイメージ図

作品概要

作品名称：「L a m p」

素 材：真鍮、銅、鉄

サ イ ズ：約370×60cm

真鍮を1滴ずつ垂らして作られた「風見鶏」と創作活動の成果である「実」がロートアイアンで繋がる造形。街灯の要素は前作から引き継ぎ、タイマー式で点灯・消灯する。

作家コメント

駅名が「茶山・京都芸術大学」に変わり、駅での作品展示がスタートして3年。この駅が京都芸術大学への“入口”だと広く認知されるようになり、地域の方との交流地点のような場にもなってきたのではないかと思います。ヤノベケンジ氏の作品は特に目を惹きつけ、地域の方々が写真を撮っている光景をよく目にします。

このプラットフォームギャラリーでは、今後、学生たちの展示の機会も増えていくことと思います。それが地域の彩りとなればより良く、作品を通じて地域の方と学生とのコミュニケーションが生まれれば素晴らしいことだと思います。

学生たちは“渡り鳥”のようなものです。いつか自立する彼らを見守っていただけるような場としてプラットフォームギャラリーが活用されていくことを願います。

作家プロフィール

福田直樹（ふくだ なおき）

2016年、京都造形芸術大学美術工芸学科 総合造形コース卒業。20年、沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科環境造形専攻 彫刻専修修了。21年から25年まで京都芸術大学ウルトラファクトリーのテクニカルスタッフを務めた。

以 上



■叡山電鉄株式会社について

京都市の北東部「洛北」に2つの路線を持つ鉄道会社です。京都御所や下鴨神社に近い出町柳駅を起点に北上。途中の宝ヶ池駅で二手に分かれ、東は八瀬比叡山口駅へ、西は貴船口駅や鞍馬駅に続いています。沿線には、貴船神社や鞍馬寺など歴史ある社寺があるほか、初夏の新緑、川床で味わえる料理、秋の紅葉など四季折々の自然が楽しめます。代表的な列車として、沿線の移り変わる景色を満喫していただける展望列車「きらら」、「橿円」のモチーフが印象的な観光列車「ひえい」があります。

ホームページ <https://eizandensha.co.jp/>

X (旧:Twitter) <https://x.com/eizandensha>

YouTube <https://www.youtube.com/user/eizandensha>

■京都芸術大学について

国内最大規模の芸術大学として通学課程、通信教育課程を合わせ、国内外から23,000名を超える多様な年齢層の意欲的な学生が集まる教育機関です。芸術を通して社会に必要な力を育成しています。芸術を学んだ学生が社会を変える「芸術立国」を教育目標に掲げ、通学課程では特に“社会と芸術”の関わりを重視した芸術教育を推進。企業や自治体などが抱える課題を、学生たちがアート・デザインの力で解決する「社会実装プロジェクト」を年間100件以上実施しています。学科を超えたグループワークや実際の仕事を通して、社会性を備えた表現者を育成しています。

所在地：〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山町2-116

URL：<https://www.kyoto-art.ac.jp/>

